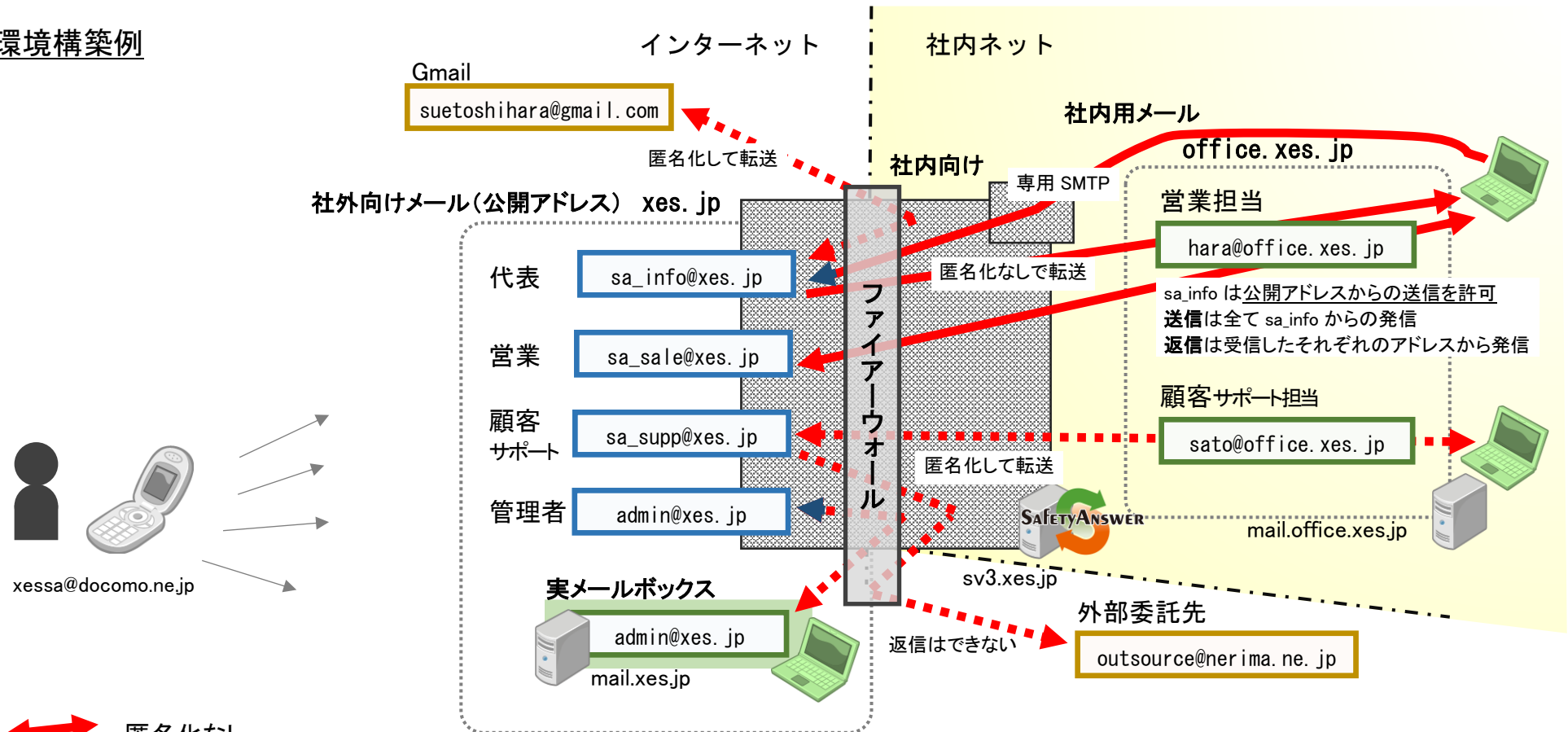


5. 組織の内外でメールアドレスを分離する環境の構築

インターネットへ公開するメールアドレスへ届くメールを、SafetyAnswer がファイアーウォールを介して組織内部のメールアドレスへ配信します。組織の内部では、内部専用ドメインのメールアドレスを使ってメールを運用することができるので、組織の外部から直接組織内部のメールアドレスへメールを送り付けることはできません。また、インターネット上の別のメールアドレスをメールの転送先に設定することで、自身の組織とは全く別のメールアドレスを使って、組織のメール運用を実現できます。

環境構築例



※ 規定の設定では、組織内部からのメール発信は組織内部のアドレスだけに許可されます。admin の場合は、実メールボックスからの送信時に発信者が admin@xes.jp となる為、公開アドレスからの送信許可が必要で、sa_info は送信操作でも受信したことのない外部のアドレスへ送信できる様に公開アドレスからの送信許可を与え、さらに専用の SMTP サービスでメールを送信する設定となっています。

SafetyAnswer への登録イメージ

管理者メニュー ■ Safety Answer セイフティ・アンサー 管理者モード ログオフ

利用者情報 - 管理者: xes.jp (株式会社エクセス) 再表示 利用者情報 登録

NO	公開メールアドレス	利用者名	転送情報の数	受信制限	登録権限
1	sa_info@xes.jp	代表	2	-	○
2	sa_sale@xes.jp	営業	1	-	-
3	sa_supp@xes.jp	顧客サポート	2	-	-
4	admin@xes.jp	管理者	1	-	-

登録: 4 / 契約: 100

転送情報

転送ID ▲	NO	タイトル	公開メールアドレス	転送先メールアドレス	管理
xes_p_admin1	4	管理者へ転送	admin@xes.jp +	admin@mail.xes.jp	4 削除
xes_p_sa_info1	1	代表者へ転送	sa_info@xes.jp +	hara@office.xes.jp	10 削除
xes_p_sa_info2	1	Gmailへ転送	sa_info@xes.jp	suetoshhara@gmail.com	5 削除
xes_p_sa_sale1	2	営業へ転送	sa_sale@xes.jp	hara@office.xes.jp	3 削除
xes_p_sa_supp1	3	顧客サポートへ転送	sa_supp@xes.jp	sato@office.xes.jp	4 削除
xes_p_sa_supp2	3	外部委託先へ転送	sa_supp@xes.jp	outsourc@nerimane.jp	4 削除

登録: 6 / 契約: 100

+ 公開アドレスからの返信が許可、* 一括送信が許可、K 返信で合議の設定あり、K 一括返信で合議の設定あり
 ◀ 返信が許可、▶ 返信メールのコピーを自身へも送信、▶ 転送が許可、▶ 送信者を匿名化して転送が許可

契約者情報

ログオフ

転送情報変更 ■ Safety Answer セイフティ・アンサー 管理者モード 戻る

転送情報 変更

転送ID xes_jp_sa_info1
 タイトル 代表者へ転送
 転送許可 転送を停止する場合はチェックを外す
 返信許可 返信を許可しない場合はチェックを外す

公開するメールアドレスに関する情報
 ▶ 公開メールアドレス 代表 <sa_info@xes.jp>

メールの転送先に関する設定
 ▶ 転送先メールアドレス hara@office.xes.jp 秘匿する転送先メールアドレス
 ▶ 転送先メーラー機能 標準 docomo携帯へ転送する場合は**返信先に非対応**を選択

! 注意 転送先メールアドレスを変更すると、転送先メールアドレスで再度登録確認が必要になります
 ※ 転送先のメーラーでは、sa_info@xes.jp から届くメールの受信許可を設定して下さい

テストする ▶▶ 公開メールアドレス宛にテストメールを送信し 転送先メールアドレスへメールが転送されることを確認する
 ※ sa_test@svd.xes.jp から届くメールが受信できることを確認して下さい

送信者アドレスの非通知に関する設定
 転送メールのフィルタリングに関する設定
 転送情報の整理に関する設定
 返信メールに関する設定
 専用のメール送信サービス利用に関する設定

更新 リセット

公開メールアドレスを登録し、メールを受信するメールアドレスへの転送情報を登録します。
 登録はメールを受信する側(内部)のみで、外部から公開アドレスへメールを送信してくる送信者のメールアドレスの登録は不要です。
 返信用の reply-to アドレスや匿名アドレスは、メールを受信した時点でシステムが動的に生成して管理します。